

漢語サ変動詞の意味・用法の記述的研究  
——「苦勞（する）」、「苦心（する）」などをめぐって——

小林 英 樹

**A Descriptive Study on the Meaning  
and Uses of Sino-Japanese Verbs:**

*kurou-suru, kushin-suru* and so on

Hideki KOBAYASHI

群馬大学共同教育学部紀要 人文・社会科学編

第70巻 17—25頁 2021 別刷



# 漢語サ変動詞の意味・用法の記述的研究

——「苦勞（する）」、「苦心（する）」などをめぐって——

小林 英 樹

群馬大学共同教育学部国語教育講座

(2020年9月30日受理)

## A Descriptive Study on the Meaning and Uses of Sino-Japanese Verbs: *kurou-suru, kushin-suru and so on*

Hideki KOBAYASHI

Department of Japanese Education, Cooperative Faculty of Education, Gunma University

(Accepted on September 30th, 2020)

### 0. はじめに

漢語サ変動詞の分析は、和語動詞の分析に比べて、著しく遅れている。動詞の意味・用法を詳細に分析している宮島（1972）の目次を使って、このことを確かめてみよう。宮島（1972）の目次に取りあげられている動詞（例：「〔65〕 いえるくなおる、回復する」の「いえる」、「なおる」、「回復する」）を語種という観点から分類すると、次のようになる。「哀願する」などの漢語サ変動詞の分析は、とても十分とは言えないだろう。

#### (1) 和語：689語

あう、あえる、あおむく、あおりたてる、あおる、あがる、あきなう、あげる、あさる、あしらう、あずかる、あずける、あせる、あそぶ、……

#### (2) 漢語：51語

哀願する、依頼する、永眠する、回復する、帰還する、帰国する、帰宅する、希望する、強制する、強要する、拒絶する、拒否する、工夫する、考案する、懇願する、懇請する、懇望する、思案する、死亡する、省略する、成長する、嘆願する、中毒する、発見する、発明する、ふんがいのする、変化する、募集する、没落する、命令する、要求する、要請する、要望する、落命する、零落する

こうずる、産する、生ずる、弾ずる、長ずる、転ずる、熱する、縛する、発する、秘す、

変ずる、ほうじる、没する、命ずる、面する、略す

(3) その他

〔音が〕 する、きげんをとる、サボる、としをとる、腹をたてる、もっていく（くる）

漢語サ変動詞の分析が著しく遅れていることは、国語辞典の記述の不十分さにも現れている。『日本国語大辞典（第二版）』（小学館、2001）の「募金」の記述を検討してみよう。『日本国語大辞典（第二版）』は、「募金」を「寄付金などをつのること」と記述している。

- (4) 知床の反対派はこれ以上の伐採を防ぐため、全国から募金して、伐採予定の木を立ったまま買収する運動を起こそうとしている。  
（朝日新聞 1987年4月25日）

(4) の「募金（する）」は、主語への移動（お金が入ってくることを表しており、「寄付金などをつのること」という記述で捉えられるが、

- (5) 集会があると共同募金の箱が回され、市民が快く募金する姿が見られる。

（朝日新聞 1987年1月30日）

(5) の「募金（する）」は、主語からの移動（お金が出ていくことを表しており、「寄付金などをつのること」という記述では捉えられない。本来の用法ではないが、(5) のような用法も、国語辞典で記述されるべきであろう。このような国語辞典の記述の不十分さを解消するには、漢語サ変動詞の分析を蓄積していき、その成果を辞書作りに反映させるしかない<sup>1)</sup>。

本稿は、「漢語サ変動詞の意味・用法の記述的研究」の一部として、苦しい思いをすることを表す漢語サ変動詞の分析を試みる。できるだけ多くの例を分析するために、筆者が毎日新聞と契約している「毎日新聞記事データ集」を使うことにする。

## 1. 「苦勞（する）」

『明鏡国語辞典（第二版）』（大修館書店、2010）は、「苦勞」を「何かをするのに大変に苦しい思いをし、力を尽くすこと」、「また、そのさま」と記述している。(6) では、こと（「人選」）が二格で標示されている<sup>2)</sup>。

- (6) 小泉純一郎首相は19日、電話で生出演したラジオ番組で、党役員、内閣改造人事について「ポストは少ない。応援してくれる人たくさんいるんだけどねえ。これ、頭痛いよ」と語り、人選に苦勞している心境を表した。  
（毎日新聞 2003年9月20日）

(7) では、「人選」がデ格で標示されている<sup>3)</sup>。

- (7) クリントン政権へ、アメリカを知る野球人としてコメントを求めると「ワシントンに登場して大

統領は閣僚の人選で苦勞している。早く周囲が落ち着いて、いい仕事をして頂きたいですね」とかなり現実的な言葉が返ってきた。きっとそれは、独りぼっちでアメリカ人の大リーガーたちと接した、あのマッシー青年の苦勞を思い出しているかのように。（毎日新聞 1993 年 2 月 18 日）

(6)、(7) では、人選する人（「小泉純一郎首相」、「大統領」）と苦勞する人（「小泉純一郎首相」、「大統領」）が同じであるが、(8) では、「三菱救援陣」の投球に「日産自動車」が苦勞している。

(8) 三菱自動車岡崎は 2 点を追う 6 回、武輪の左前打などで 2 死 2、3 塁と好機を広げ、夏目、北村の連続 2 塁打などで 4 点を奪い逆転。日産自動車は 1 回に 4 連続四死球と 3 本の長短打で 6 点を挙げたが、三菱救援陣の緩急ある投球に苦勞し、追加点を奪えなかった。

（毎日新聞 1998 年 10 月 6 日）

(9) では、名詞節が使われている<sup>4)</sup>。

(9) 息子たちは、1 カ月 25 万円のお金を稼ぐのに苦勞している。若者がやる気をなくし、働かず、結婚しても子供を産まず、未来に希望を持たなくなったら日本の国はどうなるのだろうか。

（毎日新聞 2003 年 11 月 22 日）

(10) の名詞節では、「の」ではなく、「こと」が使われている<sup>5)</sup>。

(10) 特に、労組色を薄めることに苦勞した。創刊号から続いている「異色インタビュー」にトップライターとして京都織物卸商業組合理事長の西村大治郎氏（当時）に登場してもらったのもそんな思いからだった。京都の伝統和装の大御所と労組の組み合わせは、世間をあっと言わせた。

（毎日新聞 1998 年 4 月 1 日）

(11) では、疑問節が使われている。

(11) おまけに米国の新聞記事は、うらやましくなるほど長い。「ストーリー」と呼ばれるように、物語みたく起伏に富んだ構成が要求される。全体を要約した前文などなく、短編小説を思わせる書き出しも多い。日本のように、取材した材料からどれを削るかに苦勞し、コンパクトな短い記事にまとめるのとは違う。ニューヨーク・タイムズの書き方こそが、日本と反対なのだ。

（毎日新聞 1998 年 12 月 4 日）

(12)～(14) では、もの（「換気扇」、「食べ物」、「お金」）が二格で標示されている。

(12) 暮れの大掃除、油汚れでベトベトの換気扇に苦勞した家庭も多いはず。集合住宅に多く据え付けられているレンジフード型換気扇の手入れは、不織布製の使い捨てフィルターが市販されるようになって便利だが、過信は禁物。また、その訪問販売では虚偽を交えた言葉巧みなセールストークを巡り苦情もふえた。

（毎日新聞 1998 年 1 月 7 日）

(13) だが、捨てる物を工夫して改良し、再利用に成功した時の喜びは何物にも替え難い。金さえ出せ

ば、何でも手に入る感覚は、物余り時代に生きてきた若者の常識だろうが、創意工夫も、また大切な人生哲学ではなかろうか。食べ物に苦勞し、衣料切符で衣服を求めた私たちには「もったいない」が頭から離れない。  
(毎日新聞 1998年1月16日)

- (14) 「日常使うお金に苦勞するかどうか」のやりくり具合では、エルダー層（50～60代）の65.5%が「苦勞しない」と答えたのに対し、20～40代は47.4%。「給料日前などに、現金や、やりくりで困ることがある」では、20～40代の約4割が「YES」と答え、エルダー層より2倍も多かった。  
(毎日新聞 2003年3月18日)

(15) では、「お金」がデ格で標示されている。

- (15) 「それでも」と、自身、関学スポーツの編集長を務める増井委員長はいう。「自分が担当しているクラブの選手たちの活躍をもっとみんなに知ってほしいから、お金で苦勞してもやっていけるんです」。苦勞をぐっと胸にしまい込んで、今日も記者たちはグラウンドや体育館を駆け回る。  
(毎日新聞 1998年5月1日)

(16) では、人（「上司」）が二格で標示されている。

- (16) ゴマすりと分からぬ上司に苦勞する（毎日新聞 1993年11月9日）

(17) では、組織（「新聞」）と人（「ファン」）が並立されている。

- (17) こんな厳しい目を持つファンは、ニューヨークでは珍しくない。「ポール・オニール（一昨年、引退した人気外野手）以来、外野の両翼に愛すべき選手がいないから、マツイには頑張ってもらいたい」と話す元会社員、ロバート・ルツソさん（59）は、こう忠告する。「ニューヨークは、米国の中でも特別な場所。ここの新聞とファンには、アメリカ人の選手だって苦勞する。とにかく耐えることだね」  
(毎日新聞 2003年1月9日)

(18) の「何度行っても留守の家」は、人に準じるものと考えておく。

- (18) 市役所からの「住宅統計調査」の人が来て、「10月1日に回収に伺いますから」と用紙を置いていった。かつて私も国勢調査員をして何度行っても留守の家に苦勞した。約束の日に手渡そうと在宅していたが、来られたのは5日後だった。  
(毎日新聞 1993年10月16日)

## 2. 「苦心（する）」

『明鏡国語辞典（第二版）』（大修館書店、2010）は、「苦心」を「物事を成し遂げるために、あれこれと手間をかけ、心を使うこと」と記述している。(19) では、こと（「人選」）が二格で標示されている。

- (19) 最終場面では、小沢氏から大蔵省幹部に「新生党が責任を持つから任せてほしい」という話が伝えられたといわれ、蔵相ポストの人選には苦心したようだ。  
(毎日新聞 1993年8月10日)

(20)、(21) では、名詞節が使われている。

- (20) 難しいのは、俳優とクマが一緒に出る場面で、人間が驚き過ぎてもいけないし、リアル感を出すのに苦心した。吉祥寺のアーケードでクマがおもちゃの車で走り回るシーンを撮影したが、通行人はギョッとした顔でクマを見送っていたという。(毎日新聞 1993 年 4 月 22 日)
- (21) なかでも米国は、自分たちが冷戦下で東側に負けないよう軍備を整えることに苦心している間に日本は日米安保条約の恩恵を受けて競争力をつけた、という思いが強い。(毎日新聞 1993 年 10 月 17 日)

(22) では、疑問節が使われている。

- (22) 構成の田中は「キーワードはビートルズ。でもビートルズに対する気持ちには年齢によって差があり、3人の台本もそれぞれに違う。各作家の個性を生かしつつ、1つの本としての完成度を高めるよう心掛けた」と言う。演出の深津は「3人の台本の世界観が違うので、どこをどう抽出するかに苦心した」と話す。(毎日新聞 1998 年 1 月 31 日)

(23) では「報告」が、(24) では「報告書」が主語になっている。

- (23) 「中国の脅威」を強調すれば、クリントン大統領の中国外交は失敗したことになる。その成功を大きく評価すれば「脅威はなくなった」と表現せざるをえなくなる。報告は、この相反する課題のバランスを保つことに苦心している。それでも「中国の大国化は、多くの課題を生み出す」と指摘することを忘れていない。(毎日新聞 1998 年 11 月 26 日)
- (24) 報告書は、レセプト(診療報酬明細書)に続き、カルテについても開示の方向を示した点で意義は大きい。しかし、日本医師会は「環境が整っていない」などの理由で現在でも強硬に法制化に反対しており、それを納得させるために報告書は苦心している。(毎日新聞 1998 年 6 月 19 日)

### 3. 「苦慮(する)」

『明鏡国語辞典(第二版)』(大修館書店、2010)は、「苦慮」を「苦心してあれこれと考えること」と記述している。(25)では、こと(「対応」)が二格で標示されている。

- (25) 自民党の森喜朗幹事長が衆院石川1区補選(11日告示、23日投開票)への対応に苦慮している。民主党の故奥田敏和元運輸相の死去に伴う同補選で、同党は奥田氏の長男を公認。自民党は告示目前にもかかわらず、候補者が決まっていない。森氏は3日夜、急ぎょ上京した党県連幹部と会談。先の参院選で落選した杵掛哲男氏の擁立を軸に調整を進めてきたが、同氏は健康を理由に固辞している。(毎日新聞 1998 年 8 月 5 日)

(26) では、「対応」がデ格で標示されている。

- (26) 民主党が地方交付税法改正案など07年度補正予算案の関連法案への対応で苦慮している。年度

内に成立しなければ地方財政に影響が出るだけでなく、参院で否決した場合、新テロ対策特別措置法案に続き衆院で再可決され「慣例化」が進みかねないからだ。(毎日新聞 2008 年 1 月 24 日)

(25)、(26) では、対応する人・組織（「森喜朗幹事長」、「民主党」）と苦慮する人・組織（「森喜朗幹事長」、「民主党」）が同じであるが、(27) では、「自民党宮沢派幹部」による批判に「市川氏」が苦慮している<sup>6)</sup>。

(27) 政教分離について市川氏は「政治は宗教に対して中立であるべきだ。宗教活動に政治の権威を借りるのは宗教としての墮落であり、創価学会も同じ認識。政教分離の原則は堅持する」と強調する。だが「公明党が国民民主党にどう脱皮するか、道筋が不明」（自民党宮沢派幹部）との批判には苦慮している。(毎日新聞 1993 年 9 月 19 日)

(28)、(29) では、名詞節が使われている。

(28) 日本のこの動きには、IWC 事務局サイドが「沿岸捕鯨再開には付表改正が必要だ」との働きかけを強く行った背景がある。今年の総会で沿岸捕鯨賛成国が過半数を超えても、反捕鯨国がさらに再開阻止のための新条件を出してくれば、IWC からの脱退などを求める国内の強硬論が噴き出し、それを説得するのに苦慮しかねないという配慮があったとの見方がある。(毎日新聞 1993 年 5 月 13 日)

(29) 論議の経過と合意点を無視した一方的な意見だが、プロ野球機構はドラフト制の検討にも入り、足並みをそろえることに苦慮している。(毎日新聞 1993 年 4 月 9 日)

(30) では、疑問節が使われている。

(30) イラクへの自衛隊派遣準備を進める政府は、復興支援にあたり、どのように人道支援色を打ち出すかに苦慮している。日本人外交官殺害事件の影響などで、人道支援の柱としてきた文民派遣を当面、見送らざるを得ず、医療などの支援を行う陸上自衛隊の早期派遣も難しくなっているためだ。(毎日新聞 2003 年 12 月 5 日)

#### 4. 「腐心（する）」

『明鏡国語辞典（第二版）』（大修館書店、2010）は、「腐心」を「ある事を成し遂げるためにあれこれと心を使うこと」、「苦心」と記述している。(31) では、こと（「対応」）が二格で標示されている。

(31) 広島県教委の常盤豊教育長は 4 日夕、「大変驚いている。(尾道市の) 教育長とともに高須小問題の調査取りまとめや、その後の対応に腐心してくれた。心からご冥福を祈ります」とのコメントを発表。(毎日新聞 2003 年 7 月 5 日)

(32)、(33) では、名詞節が使われている。

(32) スタッフのひとは放映前、「制作にあたってかなり神経を削った」と話していた。「殺人犯であ



る永山に共感せずに彼を描くということが難しかった」と。確かにドラマからは永山少年の心情よりも母の悲しみを前面に出すのに腐心した様子がかがえた。4人の命を次々と奪った犯行の冷酷さも伝わってきた。動機に「貧困」を挙げていた彼の言い分を意識して、登場人物に「お前ひとりが貧乏か」と糾弾させてもいた。  
(毎日新聞 1998年9月3日)

- (33) 大リーグでも近年、オールスター戦の形がい化が著しい。出場を辞退する選手が増え、スーパースターたちは、2、3打席でさっさと交代し、試合終了も待たずに球場を後にする。監督も選手全員を出場させることに腐心する。その結果、投手が払底し、打ち切りにつながった。  
(毎日新聞 2003年2月9日)

(34)、(35) では、疑問節が使われている。

- (34) 細川首相は連立政権の誕生以来、自民党政権とは「体質も感性もやり方もすべて違う」政治の実現を目指すことを公言してきた。とりわけ、官僚主導の政治運営を嫌い、独自色をどう出すかに腐心してきた。  
(毎日新聞 1993年8月20日)
- (35) 松平前宮司の論述は、宮司として神社創建の趣旨をどう守っていくかを就任以来腐心したと述べ、「国家護持」と称して政治利用に走る政治家の無理解と闘い、遺族会や「英霊にこたえる会」などとも論争してきた、と暴露。しかも、就任以来「国家護持に断固反対」の立場を神社内でも繰り返し主張してきたことを明らかにしている。  
(毎日新聞 1993年1月31日)

(35) では、「宮司として神社創建の趣旨をどう守っていくか」がヲ格で標示されている。

## 5. おわりに

本稿は、「漢語サ変動詞の意味・用法の記述的研究」の一部として、苦しい思いをすることを表す漢語サ変動詞の分析を試みた。

- (36) 製造業は大体、足元がしっかりして地道にやっている。小さいところは貸し洩りで資金繰りに苦勞しておられるが。ただ、みていると、いいアイデアやいい動きが出ているから、そういうものを拡大していけば、時間はかかるがジワリジワリと良くなっていく。  
(毎日新聞 1998年1月12日)

(36) では、「貸し洩り」がデ格で、「資金繰り」が二格で標示されている。

- (37) 貸し洩りで 資金繰りに 苦勞する。  
(38) 貸し洩りに 苦勞する。  
(39) 資金繰りで 苦勞する。

「貸し洩り」は、(38)のように、二格で標示することもできる。「資金繰り」は、(39)のように、デ格で標示することもできる。デ格名詞句と二格名詞句が共起している(36)のような例も分析しなければならないが、手持ちの例が少ない。今後の課題としたい。

## 注

1) ここまでは、小林（2005）の「0. はじめに」に少し加筆したものである。

2) [1] では、ことのやり方（「色の出し方」）が二格で標示されている。

[1] 高度な技術を要求され、生徒たちは色の出し方に苦労したが、訓練センターが国連暫定統治機構（UNTAC）に各種行政ポスターを納品したことで自信をつけ、ひとまず 1000 部を刷り上げた。（毎日新聞 1993 年 12 月 11 日）

こと（「味つけ」）とことのやり方（「魚の焼き方」）が並立されている [2] も参照。

[2] マゲ姿が見えない場所中も、店はサラリーマンや地元の年配者らでにぎわう。「単身赴任のサラリーマンが増えました。関西出身の人に『鳥の皮が牛のすじにそっくりだ』と評判がいいんです。塩分を気にする人が増え、味つけや魚の焼き方に苦労します」といいながら、メニューにないものも材料次第で注文に応じ、時にはすしも握る。（毎日新聞 1993 年 1 月 19 日）

3) 「再就職」が、[3] では二格で、[4] ではデ格で標示されている。

[3] 「もちろん頑張るつもり」という返事にうれしくなった。「もしかしたら、自分が何度か再就職に苦労した話を聞かせていたから、感じるものがあつたのかもしれないな」と思った。（毎日新聞 1993 年 8 月 5 日）

[4] しかし、変化に時間のかかる部分もある。夫婦別姓法案は長く議論されているが、法改正のメドは立っていない。離婚は増えたが、子どもを抱えて離婚した女性は再就職で苦労することが多い。児童扶養手当は昨年の見直しで支給条件が厳しくなったばかりだ。（毎日新聞 2003 年 3 月 2 日）

4) 「は」などで取り立てられると、二格で標示されないこともある。

[5] 同、社員の黒田正子さん（50）＝毎日のスポーツ面から巨人の結果を探するのは苦労する。「巨人賛歌は他紙で」ということか。そんな大胆な割り切り方に共感も覚えるが。（毎日新聞 2003 年 4 月 26 日）

[6] 九州女子高（福岡）から実業団入りして 8 年目。寮での食事では利き手と逆の左手ではしを持つ。「左右の筋力をバランスよく使えるように」とのチームの方針で、今は豆を取るのも苦労しなくなった。寝る前に日記に反省を書き留め、たまに弱気になったら福岡の母に電話する。闘って乗り越えて今がある。（毎日新聞 2008 年 6 月 19 日）

5) [7]、[8] では、「の」も「こと」も使われていない。

[7] 僕は自分自身にすごく自信があつて、絶対に眼鏡をかけるようにはならないと思つていたので、最初はショックでした。試合中も眼鏡をかけた方がいいんですが、戦っている感じがしないし、僕の顔の特徴が消えてしまうでしょう。だから、今年も試合中はかけません。でもベンチの中はあまり明るくないので、資料を見るには苦労しますよ。（毎日新聞 1998 年 3 月 3 日）

[8] ちょっと意外な気がした。江夏との付き合いは、80 年暮れに広島から日本ハムに移籍してきた時が初めて。球界を代表する大エースと、駆け出しのプロ野球記者。一言のコメントを取るにも苦労するほど、やっかいな大物だった。西武担当として引退を見届けた時も、基本的に関係は変わらなかった。それが、ユニホームを脱いだ途端、向こうから話しかけてくるとは。（毎日新聞 1993 年 3 月 4 日）

「は」で取り立てられていない [9]、「も」で取り立てられていない [10] は、不適格だろう。

[9] \*でもベンチの中はあまり明るくないんで、資料を見るに苦労しますよ。

[10] \*一言のコメントを取るに苦労するほど、やっかいな大物だった。

6) [11] も参照。

[11] 米国側は戦略核ミサイルの照準を相互に外す「照準外し」の合意実現に躍起になっているが、この問題は核危機よりも衛星疑惑の追及をやわらげる点で米政府に意味がある。しかし、長期戦略にかかわる問題に中国側が即答しかねるのも無理はなく、他の問題も含めて、多分に場当たりの米国の要求に中国側が苦慮しているのが実情だろう。

(毎日新聞 1998 年 6 月 23 日)

### 参考文献

小林英樹 (2004) 『現代日本語の漢語動名詞の研究』 ひつじ書房。

小林英樹 (2005) 「漢語サ変動詞の意味・用法の記述的研究—「販売 (する)」、「売却 (する)」などをめぐって—」『語学と文学』  
41 : 21-28.

宮島達夫 (1972) 『動詞の意味・用法の記述的研究』 秀英出版。

